

## 考え、議論する道徳教育への転換



特別の教科 道徳（道徳科）が小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から全面実施となります。小・中学校学習指導要領が改訂された背景として、いじめの本質的な課題解決・自己肯定感や社会参画への意識・与えられた正解のない社会状況等が挙げられています。そういった状況の中で、道徳教育は大きな役割を担っています。子供たちが自ら感じ、考え、他者と対話し、協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を育成するための道徳教育への転換について、改訂のポイントをご紹介します。

### 特別の教科 道徳(道徳科)の目標

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※（ ）内は、中学校学習指導要領の文言

### 道徳科 改訂のポイント

- 検定教科書の導入
- いじめ問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的な内容
- 対話や討論など言語活動を重視した指導、問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握



### 内容項目の追加(小学校)

「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」など

### 質の高い多様な指導方法のイメージ(一例)

- 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
- 問題解決的な学習（根拠を問う発問、道徳的価値の意味を考えさせる発問など）
- 道徳的行為に関する体験的な学習（問題場面の体験、役割演技など）

### 評価の基本的な方向性

- 数値によるものでなく、記述式とすること。
- 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価として行うこと。
- 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること。

参考資料 平成28年5月27日教育課程部会 考える道徳への転換に向けたワーキンググループ 資料4 平成28年7月22日「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について（報告）  
平成29年度道徳教育指導者養成研修ブロック説明会 行政説明資料

「答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育への転換により児童生徒の道徳性を育む

「道徳教育アーカイブ」文部科学省  
<https://doutoku/next.go.jp/>  
指導方法の工夫事例や  
いじめ防止を扱った実践事例

連載  
第3回

## 「子供主体の授業づくり」のために

—△△する教師から〇〇する教師へ—

各学校から学校独自の「教師十か条」を作成するというコメントや「不易と流行」を大切にしたいといったご意見をたくさんいただきました。前号に引き続き、めざす教師の姿をご紹介します。

**教師の姿勢（心構え）編**  
☆「結果を重視する教師」から「プロセスを大切にする教師」へ  
☆「授業で育てる教師」から「環境で育てる教師」へ

### 授業づくり編

- ☆「トップダウン中心の授業をする教師」から「ボトムアップ中心の授業をする教師」へ
- ☆「授業を教科単独で構成していた教師」から「教科横断的に構成できる教師」へ

# 対話的な学びに向かう「考え合う」活動の工夫

西部型授業 その4「考え合う」過程 一学力向上のための手びき「Q&A」より一



交流活動は身に付けた知識や技能を定着させるとともに、多様な表現を通して、思考力・判断力・表現力を高める効果があります。そのためには、他者と関わる中で自らの考えを吟味し、考えを広げ深める対話的な学びが必要です。まずは、交流活動を通し、どのような学習のゴールに向かわせようと考えているかが大切です。「考え合う」学習活動の具体的な実践例をご紹介します。

## 考えを整理する

大坪小学校 廣田 あゆみ 先生  
家庭



今日の給食の食材の絵カードを、理由を述べたり友だちの意見を聞いたりしながら五大栄養素に分けることで、給食が栄養バランスを考えて作られていることに気づくことができました。

## 多様な考えをもとに考えを広げ、深める

大町ひじり学園 後期課程  
城島 友子 先生  
村山 久美子 先生



聞く観点とメモの参考となるキーワードを提示することで、生徒のスピーチへのコメントが活発になり、より豊かな内容の再構成につながっていました。

英語

# 主体的な学びにつながる「振り返る」場面の設定

西部型授業 その5「振り返る」過程 一学力向上のための手びき「Q&A」より一



めあてに沿って学習したことをまとめることで、子供自身が学習したことを自覚できるというよさがあります。そのためには、めあてと整合性のあるまとめを意識して振り返らせることが大切です。また、学習用語やキーワードを手がかりにさせることで、子供が自分の言葉でまとめやすくなります。

## キーワードを手がかりにさせる振り返りのポイントを示す

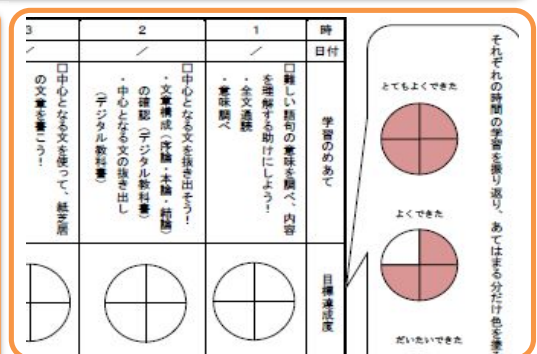
鏡山小学校 納所 邦子 先生  
算数



学習した内容のキーワードをつかませることで、子供が自分の言葉でまとめやすくなるような手立てがとられています。また、ポイントを示すことで、子供が様々な観点から振り返りができるようになっています。

## めあての達成度を円グラフで表す

武雄中学校 堤 三奈 先生  
国語



めあての達成度に応じて円グラフに色を塗らせることで、子供は短い時間で振り返ることができます。また、学習計画表と評価表が一体化していることで、単元の学びの過程がわかるようになっています。

学力向上のための手びき Q&A



ほかにも「学力向上のための手びき Q&A」に具体例を掲載しています。ぜひご活用ください。